

No.	質問項目	選択肢	前回調査 (令和3年度)	市民意識調査
1	あなたの性別は。（○は1つ。ご自身で 思われる性別をお答えください。）	1. 女性 2. 男性 3. 1・2 に当てはまらない 4. 答えたくない	あり	あり
2	あなたの年齢（令和8年8月1日現在） は。（○は1つ）	1. 10歳代・20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代 5. 60歳代以上	あり	あり
3	あなたは次のどれにあたりますか。（○ は1つ）	1. 一般職員（主席主任・主任含む。ただし再任用は除く） 2. 技能長 3. 課長補佐・係長級 4. 部長・室長・課長級 5. 再任用（フルタイム・短時間含む） 6. 会計年度任用職員	あり	なし
4	あなたの配偶者・パートナーの職業等 は何ですか。（○は1つ）	1. 配偶者・パートナーはいない 2. 自営業・会社経営 3. 正社員・正職員（常勤） 4. 派遣社員・契約社員 5. パート・アルバイト 6. 主婦・主夫 7. 学生 8. 無職（6及び7を除く） 9. その他（具体的に ）	あり	あり
5	あなたにはお子さんがおられますか。 （○は1つ）※事実婚や同性婚のパート ナーのお子さんを含みます。別居も含み ます。	1. いる 2. いない	あり	あり

No.	質問項目	選択肢	前回調査 (令和3年度)	市民意識調査
6	あなたは、次の各分野において、男女の地位が平等になっていると思いますか。次の各項目についてあなたのお考えに最も近いものをお答えください。（〇はそれぞれ1つずつ）		あり	あり
	① 家庭生活の場で	1. 男性が非常に優遇されている 2. どちらかといえば男性が優遇されている 3. 平等である 4. どちらかといえば女性が優遇されている 5. 女性が非常に優遇されている 6. わからない	あり	あり
	② 職場の中で（賃金・昇進等）	①と同じ	あり	あり
	③ 学校教育の場で	①と同じ	あり	あり
	④ 政治の場で	①と同じ	あり	あり
	⑤ 法律や制度の上で	①と同じ	あり	あり
	⑥ 社会通念・慣習・しきたり等で	①と同じ	あり	あり

No.	質問項目	選択肢	前回調査 (令和3年度)	市民意識調査
	⑦ 自治会やPTAなどの地域活動の 場で	①と同じ	あり	あり
	⑧ 社会全体として	①と同じ	あり	あり
7	あなたは、「夫が外で働き、妻は家庭を 守るべきである」という考え方につい て、どうお考えですか。（〇は1つ）	1. 賛成 2. どちらかといえば賛成 3. どちらかといえば反対 4. 反対 5. わからない	あり	あり
7-1	（「1. 賛成」、「2. どちらかといえ ば賛成」とお答えしたかたにお聞きしま す。）それはなぜですか。（〇はいくつ でも）	1. 日本の伝統的な家族の在り方だと思うから 2. 自分の両親も役割分担をしていたから 3. 夫が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから 4. 妻が家庭を守った方が、こどもの成長などにとって良いと思うから 5. 家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは大変だと思うから 6. 特にない 7. わからない 8. その他（具体的に ）	あり	あり

No.	質問項目	選択肢	前回調査 (令和3年度)	市民意識調査
7-2	（「3. どちらかといえば反対」、 「4. 反対」とお答えしたかたにお聞き します。）それはなぜですか。（〇はい くつでも）	1. 男女平等に反すると思うから 2. 自分の両親も外で働いていたから 3. 夫も妻も働いた方が、多くの収入が得られると思うから 4. 妻が働いて能力を発揮した方が、個人や社会にとって良いと思うから 5. 家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは可能だと思うから 6. 夫と妻の固定的な役割分担の意識を押しつけるべきではないから 7. 特にない 8. わからない 9. その他（具体的に        ）	あり	あり
8	あなたは育児、介護などの家庭で担わ れている役割について、あなたと配偶者で どのように分担したいですか。育児、介 護などを行っている、していないに関わら ず、保育所、訪問介護、家事代行など外 部サービスの利用を含め、これからする としたらという想定で、最も近いものを お答えください。（〇は1つ）※配偶者 のいないかたは、配偶者がいることを想 定してお答えください。		あり	あり
8-1	育児	1. 自分と配偶者で半分ずつ分担（外部サービスは利用しない） 2. 自分の方が配偶者より多く分担（外部サービスは利用しない） 3. 配偶者の方が自分より多く分担（外部サービスは利用しない） 4. 外部サービスを利用しながら、それ以外は自分と配偶者で半分ずつ分担 5. 外部サービスを利用しながら、それ以外は自分の方が配偶者より多く分担 6. 外部サービスを利用しながら、それ以外は配偶者の方が自分より多く分担 7. わからない 8. その他（具体的に        ）	あり	あり

No.	質問項目	選択肢	前回調査 (令和3年度)	市民意識調査
8-2	介護	8-1と同じ	あり	あり
8-3	育児・介護以外の家事	8-1と同じ	あり	あり
9	男性が積極的に家事・子育て・介護・地域活動などへ関わるための課題は何だと思えますか？（〇はいくつでも）	1. 男性自身の抵抗感 2. 女性の抵抗感 3. 夫婦や家族間のコミュニケーション不足 4. 男性が関わることに對する当事者以外の偏見、理解や配慮の無さ 5. 長時間労働などを原因とした関わる時間の少なさ <b>6. テレワークの推進など、勤務環境の整備不足</b> 7. 家事や子育て、介護等のスキル（技能） 8. 男性同士のネットワークが少ない 9. 関わり方が分からない（情報がない） 10. 積極的に関わる必要はない（課題はない） 11. わからない 12. その他（具体的に ）	あり	あり
10	（正規職員におたずねします。再任用職員、会計年度任用職員は問12へ。）あなたは、次の役職（技能職員の方は技能長）につくことを望みますか。（〇はそれぞれ1つずつ）※技能職員は①のみお答えください。		あり	なし
	① 課長補佐級・係長級・技能長（一般職員・技能長のみ回答。技能長は技能長になる前にどう思っていたか）	1. 望む 2. どちらかという望む 3. どちらかという望まない 4. 望まない	あり	なし

No.	質問項目	選択肢	前回調査 (令和3年度)	市民意識調査
	② 室長級・課長級（課長補佐級以下の職員のみ回答）	①と同じ	あり	なし
	③ 部長級（全員回答。部長級は昇任する前にどう思っていたか）	①と同じ	あり	なし
11	（ひとつでも「どちらか」と望まない」「望まない」とお答えしたかたにお聞きます。）どのような理由からですか。（〇はいくつでも）	1. 今の立場・役職で十分やりがいを感じる 2. もう少し経験を積んでから望む 3. 職務内容に関係なく、昇進することに興味がない 4. その役職にやりがいを感じない 5. 責任が重くなるから 6. 体力、気力に自信がない 7. 他のライフワークを優先したい 8. 休日や時間外は仕事以外のことに時間を使いたい 9. 残業や休日勤務が増えそうで嫌だ 10. その他（具体的に ）	あり	なし
12	育児休業・介護休業について、女性だけでなく男性も取得できることを知っていますか。（〇は1つ）	1. どちらも知っている 2. 育児休業のみ知っている 3. 介護休業のみ知っている 4. 知らない	あり	なし

No.	質問項目	選択肢	前回調査 (令和3年度)	市民意識調査
13	男性職員が育児休業を取得するにあたり、課題は何だと思われますか。（〇はいくつでも）	1. 上司の理解が進まない 2. 代替要員の確保 3. キャリア形成において不利になる懸念 4. 休業中の賃金保証 5. 前例（モデル）がほとんどない 6. 男性自身に育児休業を取る意識がない 7. 職場がそのような雰囲気でない 8. 社会の認識の欠如 9. <u>特に課題はない</u> 10. その他（ ）	あり	なし
14	女性が職業をもつことについて、あなたはどのようにお考えですか。（〇は1つ）	1. 女性は職業をもたないほうがよい 2. 結婚するまで職業をもち、結婚とともに辞めるほうがよい 3. 結婚しても職業をもち続け、こどもができたなら辞めるほうがよい 4. 結婚しても職業をもち続け、こどもができたなら辞めて、大きくなったら再び職業をもつのがよい 5. 結婚や出産、子育てにかかわらず、職業をもち続けるのがよい 6. その他（具体的に ） 7. わからない	あり	あり
15	女性が出産や介護などを理由に、望まない離職をすることなく職場で活躍するための課題は何だと思われますか。（〇はいくつでも）	1. 職場のトップが女性登用に対して積極的でない 2. 上司や同僚の理解不足 3. 育児や介護の両立支援制度不足 4. 長時間労働や、勤務時間に柔軟性がないこと 5. <u>テレワークの推進など、勤務環境の整備不足</u> 6. 仕事の適正な評価がされていない 7. 男性の家事・育児等参加への理解、意識改革 8. 身近に活躍している女性（ロールモデル）がいない 9. 女性自身の意識改革 10. 特に課題はない 11. わからない 12. その他（具体的に ）	あり	あり

No.	質問項目	選択肢	前回調査 (令和3年度)	市民意識調査
16	文部科学省の「令和5年度学校基本統計」によると、例えば、大学の理学部・工学部に進学する女性は男性より少ない、薬学部・看護学部に進学する男性は女性より少ないという現状であることが分かっています。進路選択の一例としてこのような状況がありますが、あなたは、一般的に進路選択に影響を与えるのは次のうちどれだと思いますか。（〇はいくつでも）	1. 母親 2. 父親 3. 兄弟姉妹 4. 祖父母 5. その他の家族・親族 6. 友人や先輩 7. 学校の先生 8. 塾や習い事など、学校以外の先生 9. 学校での職場体験 10. 地域社会での体験 11. 本、漫画、テレビやアニメ 12. インターネットやSNS 13. わからない 14. その他（具体的に ）	なし	あり
17	芦屋市DV相談室（芦屋市配偶者暴力相談支援センター）を知っていますか。（〇は1つ）	1. はい 2. いいえ	あり	なし
18	過去5年間に業務の中で市民からDVについて相談を受けたことはありますか。	1. はい 2. いいえ	あり	なし
19	（「はい」とお答えしたかたにお聞きします。）その際に、芦屋市DV相談室につないだり、市民へ芦屋市DV相談室の情報提供を行いましたか。（〇はいくつでも）	1. 芦屋市DV相談室と連携し、相談につなげた 2. 市民へ芦屋市DV相談室の情報提供を行った 3. 芦屋市DV相談室以外の他課と連携又は情報提供を行った 4. 警察などその他外部機関の情報提供を行った 5. 何も行わなかった 6. その他（具体的に ）	あり	なし



No.	質問項目	選択肢	前回調査 (令和3年度)	市民意識調査
20	芦屋市の男女共同参画社会の実現に向けた取組などについて、見たり聞いたりしたことはありますか。（〇はいくつでも）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 芦屋市男女共同参画推進条例</li> <li>2. 芦屋市男女共同参画センターウィザスあしや</li> <li>3. <u>男女共同参画センター講座（パパタイム、大人の読書タイム、男女共同参画週間事業映画上映会など）</u></li> <li>4. 芦屋市男女共同参画センター通信「ウィザス」</li> <li>5. 女性相談（心の悩み、家事、法律、女性活躍）</li> <li>6. 芦屋市DV相談室（芦屋市配偶者暴力相談支援センター）</li> <li>7. <u>芦屋市女性サポート相談室（困難な問題を抱える女性のための専用電話）※（令和6年8月からより相談しやすく支援につなげることができるよう開設）</u></li> <li>8. ASHIYA RESUME（芦屋リジューム）</li> <li>9. 見たり聞いたりしたものはない</li> </ol> <p><u>※ 配偶者以外の親族（親や子、兄弟姉妹など）からの暴力、その他家庭の事情等により、困難な問題を抱える女性が相談できる専用電話</u></p>	あり	あり
21	男女共同参画に関する次の「言葉」や「ことがら」について、見たり聞いたりしたことはありますか。（〇はいくつでも）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 男女共同参画社会基本法</li> <li>2. 男女雇用機会均等法（雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律）</li> <li>3. DV防止法（配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律）</li> <li>4. 女性活躍推進法（女性の職業生活における活躍の推進に関する法律）</li> <li>5. ジェンダー（社会的・文化的に形成された性別）</li> <li>6. ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）</li> <li>7. デートDV（交際相手からの暴力）</li> <li>8. リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）</li> <li>9. アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）</li> <li>10. <u>ジェンダー・ギャップ指数</u></li> <li>11. 見たり聞いたりしたものはない</li> </ol>	あり	あり

No.	質問項目	選択肢	前回調査 (令和3年度)	市民意識調査
22	男女共同参画社会（あらゆる分野で男女がさらに対等な社会）を実現するために、今後、行政が力を入れる重要なことはどのようなことだと思いますか。（〇はいくつでも）	1. 法律や制度の面で見直しを行う 2. 国・地方公共団体の審議会委員や管理職など、政策決定の場に女性を積極的に登用する 3. 民間企業・団体などの管理職に女性の登用が進むよう支援する 4. 女性や男性の生き方や悩みに関する相談の場を提供する 5. 従来、女性が少なかった分野（研究者など）への女性の進出を支援する 6. 保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する 7. 男女の平等と相互の理解や協力について学習機会を充実する 8. 労働時間の短縮や <u>テレワーク</u> の普及など男女共に働き方の見直しを進める 9. <u>家事・育児をはじめとした男性の家庭生活での活躍を推進する取組を進める</u> 10. 子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する 11. 子育てや介護などでいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する 12. 男女の平等と相互の理解や協力について広報・PRする 13. 女性に対する暴力を根絶するための取組を進める 14. <u>災害時に、性別などによる違いや多様性に配慮した災害対応をするための取組を進める</u> 15. 特にない 16. わからない 17. その他（具体的に ）	あり	あり
23	自由記述		あり	あり

※「あり」の場合でも、質問項目や選択肢が一部異なることがあります。